

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年7月5日 (2012.7.5)

【公開番号】特開2011-19182(P2011-19182A)

【公開日】平成23年1月27日 (2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2009-163972(P2009-163972)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 3/54 (2006.01)

H 0 4 Q 3/58 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 1/00 E

H 0 4 M 3/54

H 0 4 Q 3/58 1 0 6

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月21日 (2012.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

着信転送機能と転送された着信を指定して応答する代理応答機能を提供する交換装置と接続される電話端末であって、

自端末への着信を検出する着信検出手段と、自端末への着信が解除されたことを検出する着信解除検出手段と、前記着信転送機能によって他端末に転送された着信に代理応答するための代理応答特番または応答対象の呼を特定する着信グループ指定番号を記憶する代理応答情報記憶手段と、自端末への着信が解除された際に所定の期間擬似的な着信状態を形成する擬似着信手段と、擬似着信状態において応答操作を検出する応答操作検出手段と、交換装置に対して代理応答を要求する代理応答要求手段とを具備して、

前記着信検出手段によって自端末への着信を検出した際、前記代理応答情報記憶手段に他の電話端末に転送された着信に代理応答するために必要な情報を記憶し、前記着信解除検出手段によって自端末への着信が解除されたことを検出した際、前記擬似着信手段によって所定の期間擬似着信状態を継続し、前記擬似着信状態において前記応答操作検出手段によって応答操作を検出した場合、前記代理応答要求手段は、前記代理応答情報記憶手段に記憶された情報に基づいて、代理応答要求を交換装置に送信することにより、着信転送によって解除された着信に応答することを特徴とする電話端末。

【請求項 2】

請求項 1 記載の電話端末において、

自端末への着信を検出した時点から自端末への着信が解除された時点までの時間を判定する着信継続時間継続手段を更に具備して、前記着信継続時間継続手段によって継続された着信検出から着信解除までの時間が、所定の条件と一致した場合のみ、擬似着信状態を継続させ、代理応答操作を有効とすることを特徴とする電話端末。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

本発明の電話端末は、着信転送機能と転送された着信を指定して応答する代理応答機能を提供する交換装置と接続される電話端末であって、自端末への着信を検出する着信検出手段と、自端末への着信が解除されたことを検出する着信解除検出手段と、前記着信転送機能によって他端末に転送された着信に代理応答するための代理応答特番または応答対象の呼を特定する着信グループ指定番号を記憶する代理応答情報記憶手段と、自端末への着信が解除された際に所定の期間擬似的な着信状態を形成する擬似着信手段と、擬似着信状態において応答操作を検出する応答操作検出手段と、交換装置に対して代理応答を要求する代理応答要求手段とを具備して、前記着信検出手段によって自端末への着信を検出した際、前記代理応答情報記憶手段に他の電話端末に転送された着信に代理応答するために必要な情報を記憶し、前記着信解除検出手段によって自端末への着信が解除されたことを検出した際、前記擬似着信手段によって所定の期間擬似着信状態を継続し、前記擬似着信状態において前記応答操作検出手段によって応答操作を検出した場合、前記代理応答要求手段は、前記代理応答情報記憶手段に記憶された情報に基づいて、代理応答要求を交換装置に送信することにより、着信転送によって解除された着信に応答することを特徴とする。

## 【手続補正3】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0008

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0008】

また、本発明の電話端末は、更に、自端末への着信を検出した時点から自端末への着信が解除された時点までの時間を判定する着信継続時間継続手段を更に具備して、前記着信継続時間継続手段によって継続された着信検出から着信解除までの時間が、所定の条件と一致した場合のみ、擬似着信状態を継続させ、代理応答操作を有効とすることを特徴とする。